



「防災体験給食」を実施します

～命を守るローリングストック～

全国各地で大規模な災害が頻発している昨今、災害時の食の問題は重要です。阪神・淡路大震災をきっかけに、防災教育も進められているなか、公助に頼った食の支援では、量的・質的に被災者のニーズに応えることは難しく、適切な対応には、公助と自助が欠かせないことが指摘されています。

養父市では、毎年、防災の日である9月1日と阪神・淡路大震災が発生した1月17日を基準に市内の小学5年生を対象として、「防災体験給食」を実施しています。

栄養教諭による防災についての授業後、非常食（アルファ化米）を調理し、食べる体験をすることで、命をつなぐため「災害時の食」の備えの重要性を知り、災害時においても病気をせず健康に過ごすための食事の大切さを知る機会とします。



大屋小学校 防災体験給食 昨年度の様子

日時 2025年9月1日（月） 午前11時20分頃から午後0時30分頃

場所 大屋小学校（養父市大屋町山路110 電話079-669-0016）

対象 5年生 14人

内容 栄養教諭から防災についての授業を受けた後、非常食（アルファ化米）を調理し、授業当日の給食の「ご飯」として食べる体験をする。

（熱湯を注ぎ、20分程度待つ。その間に給食の準備をする。出来上がる頃に食べ始める。）

当日の献立

ごはん、牛乳、いわしのみりん干し、切干大根とピーマンの昆布あえ、具だくさんみそ汁
※大屋小学校5年生14人はアルファ化米を喫食

その他 市内の小学5年生を対象に順次実施予定

取材について 取材希望の方は、養父市学校給食センターに連絡をお願いします。

（学校へは給食センターから連絡しますので、学校への連絡はご遠慮ください）

受付時間 午前8時～午後4時45分

【問合せ】

養父市教育委員会 養父市学校給食センター

課長：藤盛 瑞穂 担当者：奥山 真裕美、中西 優子

電話：079-664-1801